

MyStars 通信

No.34

December 2011



海を歩く大熊

多くの人たちに知られる星と言えば“北斗七星”があげられるかと思います。北斗七星は大熊座の一部で、熊の腰から尻尾を現しています。夕方の空では北の方角を見て、春はほぼ真上に、夏は左に、秋は地平線の上に、冬は右に見えます。

北斗七星は北の空にあるため1年中見えると思われそうですが、南北に長い日本列島では場所によって状況が違ってきます。秋田県と岩手県の真ん中より北の地方では一年中沈むことはありませんが、それより南の地方ではいくつかの星が沈みます。沖縄県地方ではすべての星が沈むことがあります。

北斗七星は北の道しるべとして使われますが、北極星の探し方覚えていますか。正しい探し方はひしゃくの升の右のふたつ（上の写真を参照）の間隔を上にも5倍のばしたところですが、7倍と覚えている方もいるようですが、北極星を通り過ぎてしまいます。また左のふたつを伸ばす方が見受けられますが、どこか見知らぬ世界へ行ってしまいますのでご注意ください。上の写真の撮影地は網走市能取岬で、オホーツク海を歩く熊です。

2011年10月末現在でおおぐま座に登録されている方は371名です。

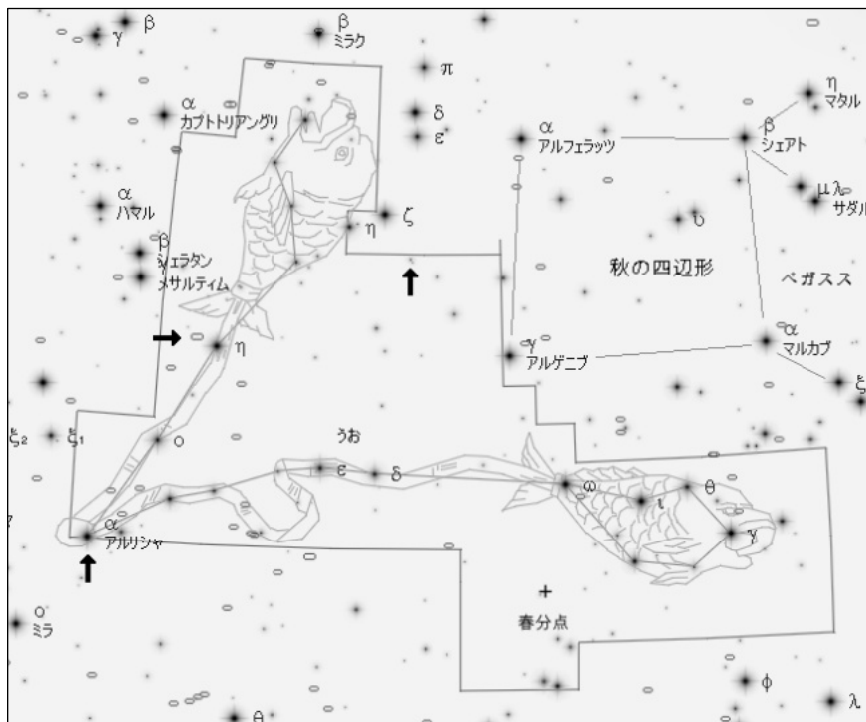
綺羅星・星座ガイド

魚（うお）座

うお座は星占いの最初に出てくる星座です。なぜ最初に出てくるかというと、春分点がこの星座の中にあるからです。でも春分点って何？ 春分点は、太陽が南半球から北半球に入る太陽の通り道（黄道）と赤道との交差点です。星の座標はこの春分点が基準となっています。春分点に特に目立つ星があるわけではありません。

うお座は2匹の魚がリボンでむすばれた姿になっていますが、ギリシャ神話ではの親子で、水中ではぐれないようにリボンでむすばれているのだそうです。

うお座の星は明るい星が少なく、リボンの結び目にあるα星アルリシャという星が4等星で一番明るく、他は5、6等星からなります。そのため周囲が明るいところでは星座を探すのが難し



いでしょう。アルリシャを少し大きめの望遠鏡で見ると4.3等星のそばに5.2等星が並んで見えます。このふたつは720年の周期で回る連星で、どちらも白い星です。

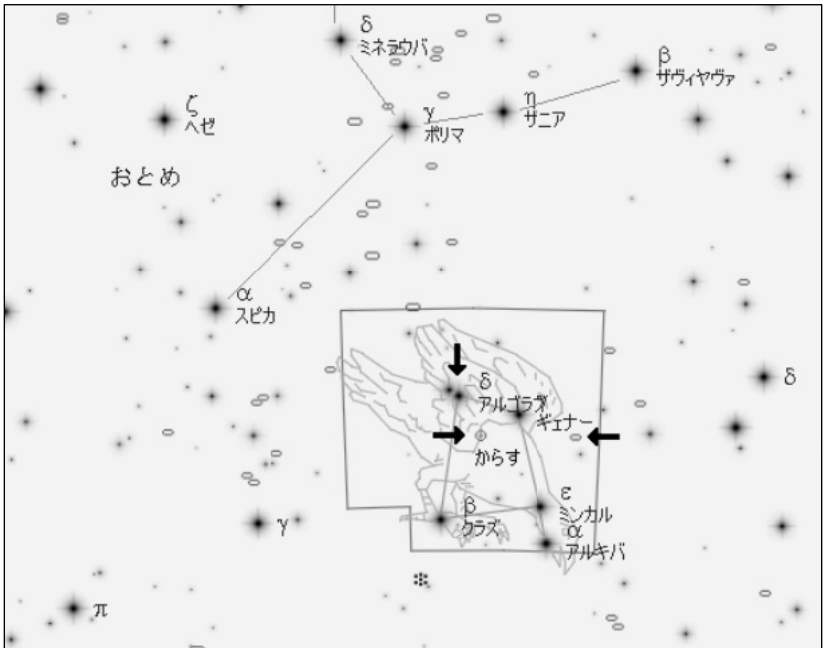
重星や連星は他にもありますが、暗いので探し出すのが大変です。うお座には銀河もありますが、η(イ-eta)星のそばにあるM74が見やすいでしょう。この銀河はうずまきを真上から見たような姿で、写真ではきれいな渦巻きが分かります。しかし、望遠鏡で直接見た場合は淡くて中心部がかすかに見える程度です。真上から見た銀河は全体に密度が低くなり薄くなってしまいます。大きな望遠鏡では淡い渦がかすかに見られます。

烏（からす）座

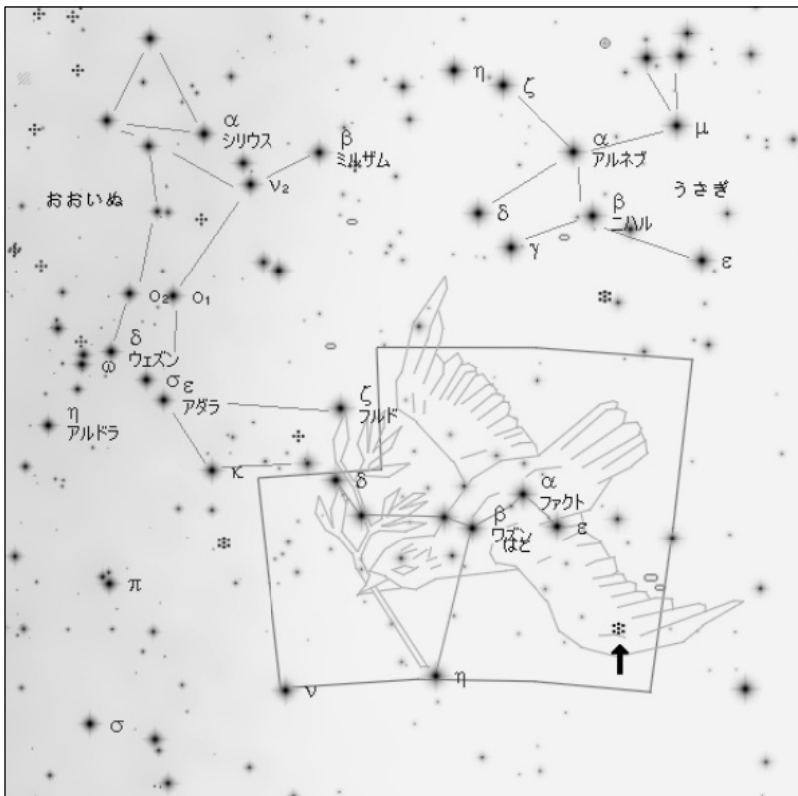
カラスと言えば真っ黒でゴミを散らかす世間の嫌われ者ですが、この星座になったカラスは音楽の名手アポロンの遣いでした。銀色の翼をもち人間の言葉を話せる賢いカラスでしたが、ひどい嘘つきというのが欠点でした。ある時アポロンを激怒させる大嘘をついたため、全身を真っ黒にして言葉を奪い取り、その醜い姿を天にあげて世間のさらし者にしたのだと言うことです。

からす座はおとめ座の南にある小さな星座ですが、4個の3等星がつくるゆがんだ四角形は、スピカの南西にありわりと目立ちます。からす座には特に目を引く天体もなくややさみしいですが、四角の左上にある δ 星アルコラブという星を望遠鏡で見ると、3.1等星の近くに8.4等星の星が並んで見えます。光度差が大きいので小型の望遠鏡ではちょっと見づらいかも知れません。また、四角の中にNGC4361

と言う惑星状星雲（寿命を終えた星がつくった星雲）があります。少し大きめの望遠鏡が必要ですが、星のまわりにボーッとした淡いガスが見られます。



鳩（はと）座



ハトは平和のシンボルとしてポスターのイラストや、大きな競技会などがあると一斉に放たれたりしますが、この星座のハトは“ノアの箱船”から最初に放たれ、しばらくの後オリーブの葉っぱを持ち帰り、陸が近いと知らせたあのハトだそうです。

はと座はおおいぬ座の南にある星座で、低いことと明るい星が少ないことであまり注目されません。星座の星の配列を見ると、ギザギザに並ぶ星の列とその南に孤立した星があります。この姿からハトを想像するのはどうなのでしょう。パラグライダーの様にも見えます。はと座は南に低いため北海道では

地平線すれすれで、大気が濁っていると見えないこともあります。南の地方では余裕で見ることができます。個々の星を見ますと、ギザギザの真ん中辺りに β 星ウェズンという3等星があり、3.2等星と9.8等星の二重星です。低いので見づらいですが、やや大きめの望遠鏡で見えるでしょう。また、はと座の南西にNGC1851と言う星がダンゴのように丸く集まった球状星団があります。見かけの大きさが満月の3分の1ほどもある大きな星

団です。北海道ではまったくダメですが、南の地方の方は望遠鏡で眺めてみて下さい。

双子（ふたご）座

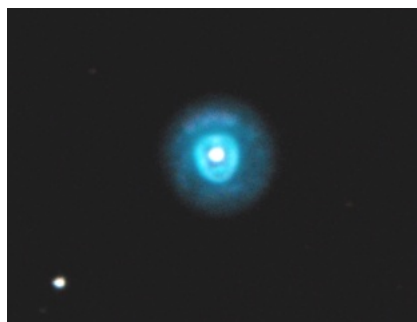
ふたご座もうお座と同様誕生日の星座としてお馴染みです。12星座の中では一番北に位置し、以前はおうし座との境界付近に夏至点（太陽が最も北に位置する所）があったのですが、現在はおうし座にあります。

ふたご座は兄のカストルと弟のポルックスの兄弟で、カストルは人間の血を引く普通の人ですが、ポルックスは神の血を引いているため不死身だったと言います。

ふたご座には明るい星がふたつ並んでいます。カストル

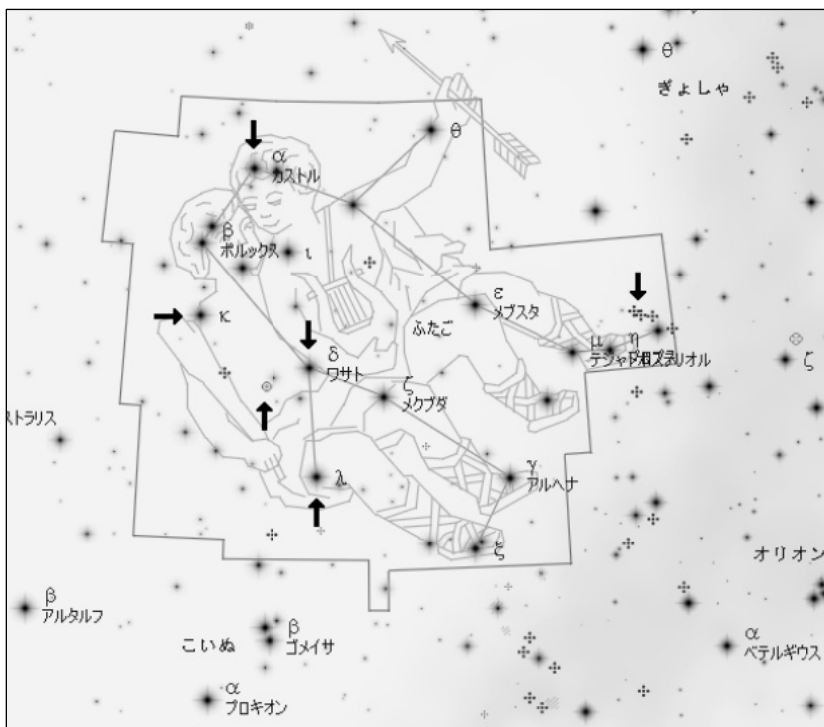
は1.6等星ですが、ポルックスは1.2等星と、神の血を引いた弟の方が少し明るく見えます。カストルを望遠鏡で見るとふたつの星（AとB）がピッタリと並んで見えます。さらによく見るとこのふたつから少し離れて9等星（C）が見えますが、これらは連星でAとBは周期が500年、A BとCは1万5000年という長い時間をかけて回っています。さらに詳しく調べるとこの3個の星はそれぞれ2個ずつと言うややこしい星なのです。と言うことでカストルは6人家族ですが、ポルックスは独身なのです。

カストルの足下にM35と言う星団があります。120個ほどの星が満月より少し大きい範囲に集まっていて、双眼鏡でも見ることができます。また、このあたりは天の川にかかっ



ているため、星が多く双眼鏡や小型の望遠鏡でも十分楽しめます。それともう一つ、 δ 星ワサトの東にNGC 2392という惑星状星雲があります。通称エスキモー星雲と呼ばれていますが、写真で見ると毛皮のフードをかぶったエスキモー人に良く似ています。このようすは大きめの望遠鏡で見ることができます。

ふたご座で注目されるものに“ふたご座流星群”があります。毎年12月13日ころを中心に見られる流星群で、近年では数ある流星群の中で、8月のペルセウス座流星群と並んで最も活発な流星群の一つとなっています。流星群の元は多くの場合彗星なのですが、ふたご座群はパエトンという小惑星なのです。



「Mystars通信」の天文図はStellaNavigator9(AstroArts)を使用しています

綺羅星列伝

今回は4遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : Star of ZERO

2男3女の姉弟の2女の私が、両親と同居し、お葬式をあげるなど、若い時には考えてもいませんでした。

父は武彦といいます。亡くなった12月の夜空に2000年に1度という百武すい星を仰ぎ、父の名にふさわしく胸に刻みしました。

母は、「父の分も生きて」と言ってましたのに後を追うように病気になり、ヘル・ポップすい星が現れた時に亡くなりました。

この2つの星は、私の生きている間には見ることはできません。

それならば私も星になり、いつまでも待つことにしましょう。

初山別天文台には、友人3人で初めて行きました。私は運転ができませんので、多分あの日が大切な1日だったと思います。

丁度昼時で、天文台の方は、星を探して、アルクトゥルスを見せて下さいました。望遠鏡の中をダイヤのように光りながら動いていきました。感動しました。これが私の星。でも・・・。

私の星はどうしようか。

幼い頃、銭湯の帰り、母が教えてくれた、いつも見える分かりやすい星。北斗七星。これに決めました。

さて名前は、礼子→零子→0子→ZERO
0は、+と-の区切り。0はどの数字をかけても0。

それで決めたのです。

2000年後、私は夜空にあって、父と母の星を見るでしょう。でも、父母は私の星には気付くはずはありません。私の星は、私だけが知っているのですから。

星の名前 : May.AKIHICO / May.SANAE

アルバムに綴られ父の直筆のメッセージにとめどなく涙がこぼれ落ちた。

「娘たちよ、健やかに育て - 」

白血病のため6歳のいのちを閉じた長女、早苗。
意地っ張りでそのくせ涙もろい次女、千晶。
芯が強く時々おっちょこちょいな三女、愛香。

振り返ると、私たち三姉妹を育ててくれ

た父の想いは、アルバムのこの短い言葉にすべてが詰まっているように思える。

海に糸を垂れ、思いやりを釣り上げて配り歩いた。

軽妙な冗談で場を和ませた。

町の子どもたちのために働いた。

どうしようもない哀しみや

どうしようもない不安を抱えて

最後まで生き切った67歳の尊敬すべき生涯。

昭和51年5月9日 「May.SANAE」
平成23年5月20日 「May.AKIHICO」
5月に空へと還った父と姉の星。

お父さん。たくさんの愛情と優しさをありがとう。
お姉ちゃん。お父さんにいっぱい甘えて

ね。

いつか初山別にお母さんを連れて行くよ。
そして、夜空で逢いましょう。

平成23年初秋 次女 千晶

星の名前 : TOMOYUKI & YOSHIKO

この星の名前は父と母のものです。

父は1994年11月に肺ガンで亡くなりました。ガンコな父で、よくけんかしていました。ガン発見から約半年でこの世からいなくなりました。そして、母は1998年5月に突然亡くなりました。母は足が悪く、家の中でもずっと車いす生活で動かすと痛がるので、外につれだすこともあまりしてあげられませんでした。父が亡くなってから、私が仕事に行っている間、1人ぼっちで家からも出られない生活でした。本当、二人には何もしてあげられませんでした。

My Stars system 登録の事を知った時、名前はなんて付けようかと悩みました。そして、仲良しの父と母の為に、2人の居場所をつくってあげたいと思いました。

父は5月21日生まれ、母は6月5日生まれ。2人共双子座なので、双子座の近くの星に2人は生きつづける事となりました。

自己満足かもしれませんが、何か、2人の為にしてあげられた様で大変うれしく思います。ずっとずっと美しく輝いて欲しいです。そして1日も早くその星を見たいです。

星の名前 : RIO

1999.3.16早朝、大きな大きな女の子がこの世に誕生しました。
それが、娘「理緒」です。

私達の願いを込めて、スペイン語で、川という意味のRIOと命名しました。勉強などできなくっても、心のきれいな、緩和のようににこらない心をいつまでも持ち続け、周りの人にやさしい気持ちで接する事のできる女の子に、育ててほしいという願いを込めたのです。

理緒ちゃんもうすぐお姉ちゃんですね。お父さん、お母さんの願いの様に心優しいお姉ちゃんになれる様に頑張ろうね。

そして、理緒ちゃんと一緒にいると心安くよと言われる、すてきな女性になって下さい。

あなたを産んでほんとうにほんとうにお母さんは幸せです。

もう少し大きくなったら、家族全員でRIOを見に行こうね。

母より

こちら情報室

○天文情報（12月～5月）

流星・彗星

- 12月14日を中心にふたご座流星群（12/5～12/20）

活発な流星群の1つで、近年は出現数も多く安定しているようです。今年は15日午前2時ころピークになると予想されていて、放射点は頭上高くにあります。満月過ぎの月がありますが、明るい流星も多いので月明かりを気にせず見てみましょう。

- 1月4日未明にりゅう（しぶんぎ）座流星群

毎年1月4日限定の流星群で、活発な流星群の一つです。活動のピークは短くチャンスを逃すとほとんど見られませんが、チャンスに恵まれれば1時間あたり50～100個見られることもあります。今回は上弦過ぎの月がありますが、2時過ぎには沈みますのでその後は暗い空で見ることができます。

彗星を見よう

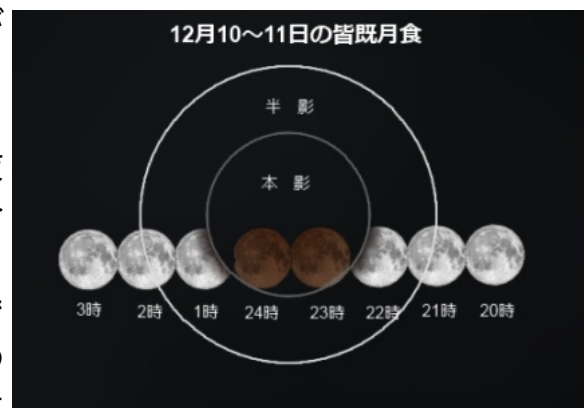
- 1月22日にレビー彗星が地球に接近します。7等級の明るさですが、双眼鏡で見えるでしょう。15日前後は木星に近づきます
- この夏から見えているギャラッド彗星が、引き続き3月まで見ることができます（明るさは7等級の見込み）。11月から12月に太陽に近くなり、1月から2月には明け方の東空で、3月はりゅう座で一晩中見えるようになります（肉眼では困難）。その後おおぐま座を移動していきますが、しだいに暗くなります。

日食・月食・星食

● 12月10日の21時ころから全国で皆既月食が見られます。月食は月が地球の影には入って暗くなる現象で、皆既月食のときは地球の大気による屈折で月が赤黒く見えます。ちょうど土曜日の夜なので見るには絶好の条件です。月食は欠け具合や時刻は全国同じです。

● 5月21日の早朝、関東から九州の太平洋側で金環日食が見られます。金環日食は月より太陽の方が少し大きく見えるため、月からはみだした太陽がリング状に見えるものです。食帯からはずれたところでも大きく欠ける部分日食が見られます。

● 6月4日の夕方から全国で部分月食が見られます。一部の地方を除いて欠け始めてから月が上がってきます。



惑 星

水星：3月5日は夕方の西東空で、4月19日は明け方の東空で最大離隔となり見やすくなります。

金星：夕方の西空で輝いている金星が、3月27日に東方最大離隔になります。

火星：3月5日に地球に接近します。今回は小接近（距離1億78万km）のためあまり大きく見えませんが、模様は分かるでしょう。

木星：4月まで見えます。3月中旬ころは夕方西の空で金星と並んで見えます。

土星：4月17日に地球に接近し8月まで見ることができます。環の傾きも大きくなって見やすくなっています。

天王星：3月25日に合になり、太陽に近く適しません。

海王星：2月20日に合になり、太陽に近く適しません。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号8850までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

~~~~~

### [編集後記]

2011年10月末現在の登録者数は8848名です。

今年は3月の東日本大地震に始まり、福島原発事故と放射線被害拡大、台風と大雨による土砂災害と日本にとっては試練の年となりました。被害に遭われた方にはもうしばらく苦難の日々が続くかと思われませんが、負けずに乗り切ってください。このような災害は日本だけにとどまらず、世界各地で地震、火山、洪水などの被害情報が毎日のように入ってきます。

初山別では10月3日に初雪が降りました。今年の天候は予想外のことだらけで、春に暑かったかと思えば夏に涼しかったり、紅葉のころ暑さがぶり返したりしていました。いつもの年なら7月はジメジメして本州の梅雨時を思わせる日々なのですが、今年はどうしたことがカラッとスッキリでした。嬉しい誤算です（^^）

（K）

|           |                                                                                                              |                                                                              |                    |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 編集・発行     | しょさんべつ天文台                                                                                                    | 〒078-4431                                                                    | 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7 |
| 天文台ホームページ | URL= <a href="http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/index1.html">http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/index1.html</a> |                                                                              |                    |
| E-Mail    | 教育委員会                                                                                                        | <a href="mailto:shkyoiku@saturn.plala.or.jp">shkyoiku@saturn.plala.or.jp</a> |                    |
|           | しょさんべつ天文台                                                                                                    | <a href="mailto:shosanbe@hokkai.or.jp">shosanbe@hokkai.or.jp</a>             |                    |